

会議記録

高松市付属機関等の会議の公開に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成30年度第1回 高松市認知症初期集中支援チーム検討委員会
開催日時	平成30年8月29日(水) 午後7時～午後8時30分
開催場所	高松市保健センター 5階研修室
議 題	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 認知症初期集中支援チーム活動状況及び運用について (3) 意見交換 (4) その他
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	議題(1)については、個人情報が含まれることから、高松市情報公開条例第7条第1号に該当
出席委員	8人 吉田会長、中村副会長、片山委員、林委員、植野委員、田中委員、岡田委員、黒川委員
傍聴者	0人
担当課及び連絡先	地域包括支援センター 電話 839-2811

協議経過及び協議結果

議事進行

会議の運営に関し、高松市の「会議の公開等に関する指針」に則って議題2の一部は、個人情報を取り扱うため非公開とし、その他は公開することについて、承認を得る。

－以後審議－

議題(1) 会長及び副会長の選任について

吉田会長及び中村副会長が選任された。

議題(2) 認知症初期集中支援チーム活動報告及び運用について

事務局から説明した。

議題(3) 意見交換

議題(4) その他

事務局から説明した。

【主な意見等】

議題（3）意見交換

- A 委員）事例について各専門職の立場で御意見や御助言をお願いします。
家族に対する被害妄想が強くある事例については皆様でしたら、どのように関わりますか。
- B 委員）福祉の立場から、御本人と信頼関係を築き、御本人の気持ちに寄り添った関わりと併せて、家族に対しても思いを傾聴していく関わりを大切にします。
- C 委員）在宅での医療を支援する立場から、御本人の今後の過ごし方を意思確認していくことが大切だと思います。御本人の意向を尊重し、共有できる大切な時期だと思いますので、関係性の良い家族が代弁することも必要だと思います。
- D 委員）看護の立場から、御本人との信頼関係を築いていくことが大切だと思います。また、家族が疲弊していると思いますので、家族は別の場でゆっくりと話を傾聴していくことが、御本人への支援にも繋がっていくと思います。御本人の訴えに、否定も肯定もせずに傾聴していく姿勢が大切だと思います。そして、必要な医療や介護保険サービスに繋いでいくことが大切だと思います。
- E 委員）作業療法士の立場から、妄想は明らかに非現実的なことだと思いますが、否定も肯定もしない関わりが大切です。しかし、家族のような身近な人は、「私ではない」と否定しまいがちになります。それが一般的な介護の一場面だと思います。そのようになると、御本人は「私が嘘を言っている」と感情的になり、継続してその感情が残ってしまうため、例えば、御本人が「財布がなくなった」と話した場合、家族は「財布がなくなったんだね、じゃあ一緒に探そうか」というように関わっていくことと併せて、こぼった表情をせずに、家族が表情や行動がコントロールできるような関わり方を考えていくことが大切だと思います。例えば「リハビリに行きましょう」と話しても、拒否されることも多かったのですが、拒否されても無理やり連れて行くと嫌な感情ばかりが残ってしまうので、一旦時間を置いて話しかける時には、笑顔で話しかけると意外とスムーズに行けることもあるので、物盗られ妄想も注意を別の場に変えていくことも大切ではないかと思いました。例えば、草抜きなど庭の手入れが好きな事例には、関心のあるところから入っていくことが大切なのだと思います。認知症の人は、洗濯をたたむなど、繰り返しの作業を好む傾向の方も多いため、その人の好むことへの支援が大切だと思います。
- F 委員）薬剤師の立場とは直接関係がないかもしれませんが、相談者である家族が疲弊していることを感じました。薬剤師としても、御本人や御家族と信頼関係を築くことを大切だと思っています。服薬管理等の御本人ができていることを御家族に報告する等、丁寧な関わりをしていきたいと思いました。
- G 委員）民生委員の立場から、様々な相談に対応する中で、地域包括支援センター等必要な関係機関に繋いでいく役割を民生委員は担っていると思っています。相談があ

った場合は、丁寧に聞き、必要な機関に繋いでいくことを今後も継続していきたいと思います。

- A 委員) 事例について各専門職の立場で御意見や御助言をお願いします。
独居で今後の生活に不安の強い事例については皆様でしたら、どのように関わりますか。
- E 委員) 作業療法士として、御本人の動作についてしっかりと確認をしていきたいと思えます。特に身体的な疾患もあり、独居で支援者が近くにいないため、適切なサービスに繋げていく必要があると思えます。日常面の動作の中で、いかに不自由な症状を出にくくするのか、例えば、ペットボトルを握るときには、空間に腕を持ち上げて握るのではなく、机に一旦上腕を置き、ペットボトルを握る動作が有効であると思えます。この事例は独居で身近にも支援者がいないため、あんしん見守り員などの支援がないと、安否確認も困難であるため、友人や近所付き合い等の中で、可能ならその支援を共に担ってくれる方がいたら良いと思えました。
- C 委員) 御近所との繋がりや地域の中での見守り等、インフォーマルなサービスの利用が活用できれば良いと思えました。
- B 委員) 独居の方の見守り体制が課題だと思えます。日常生活面の関わりの支援が重要な方だと思えました。
- D 委員) 高松市は見守り員の活動は積極的に行われていると聞いています。そのような活動を継続していくことが大切だと思えました。人と関わることは大切ですので、地域との接点を持っていくためにも、地域のボランティアの力を借りていくことも大切だと思えました。
- G 委員) 民生委員は定期的に独居高齢者の訪問等支援を行っています。地域では居場所づくり事業も積極的に行われているので、近くの居場所づくり事業への参加も促すことができれば良いのではないかなと思えました。地域の自治会に未加入の方も増えてきているので、地域との繋がりが希薄になってきているのは課題だと思えます。
- F 委員) 地域での見守り体制が必要な事例だと思えます。民生委員の関わりは大変な中、御尽力いただいて心強く思っています。

議題(4) その他

事務局)

- ① たかまつ認知症フェアについて(平成30年8月31日～9月4日)
- ② 認知症カフェの拡大実施について(平成30年8月～)

A 委員) その他について、何か御質問はありませんか。

事務局) 平成30年度の本検討委員会の開催につきましては、年2回を予定しております。平成30年度第2回検討委員会は、平成31年2月末頃を予定しております。また、1月頃に日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いたします。